

大塚製薬株式会社の事業適応計画のポイント

2024年9月17日

当社は、高崎工場において、太陽光発電設備及び電気ボイラ設備を導入します。これにより、製造に伴って排出されるCO2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。
また、板野工場において、太陽光発電設備及び各種チラー設備を導入します。これにより、製造に伴って排出されるCO2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。
また、徳島美馬工場において、太陽光発電設備を導入します。これにより、製造に伴って排出されるCO2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

〈太陽光発電設備及び電気ボイラ設備を導入する高崎工場の外観〉

1. 事業適応計画の実施期間

2022年11月～2024年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

高崎工場の炭素生産性を37.2%、板野工場の炭素生産性を11.0%、徳島美馬工場の炭素生産性を484.9%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

高崎工場に太陽光発電設備及び電気ボイラ設備を導入することにより炭素生産性を37.2%向上、板野工場に太陽光発電設備及び各種チラー設備を導入することにより炭素生産性を11.0%向上、徳島美馬工場に太陽光発電設備を導入することにより炭素生産性を484.9%向上させることを目標とします。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）



〈板野工場の太陽光発電設備設置場所〉



〈太陽光発電設備を導入する徳島美馬工場の外観〉

